



## コロナ禍に見えるやさしさ思いやり

小学部准校長 近江 学

6月の分散登校から段階的に教育活動を再開した前期は、新しい学校生活様式に慣れてきたところで夏休みとなりました。16日間という短い夏休みもあつという間に過ぎ、8月の暑い中での授業開始から季節はすっかり秋になり、あと数日で前期終業式を迎えることとなります。

この前期は、予定をしていた多くの学校行事が中止または延期となりました。「霧の里」での野菜の収穫体験をはじめ、地域に出での活動を自粛。楽しみにしていた宿泊行事も、安全・安心に実施することが難しいという判断から苦渋の決断で中止としました。きりたまタイムやきりたま給食のような交流も今のところ止めています。地域や保護者の方が来校していただく読み聞かせ等の活動も控えています。

このような中「わたしの学校生活」しらべを7月に実施したところ、「学校に来るのが楽しい」と答えた割合が昨年と比較して低い結果となりました。友達とのふれあい、異学年との交流、遠足や宿泊などの校外活動、地域の方とのかかわり……。これらのことが、いかに子どもたちの学校生活を豊かにしていたのかがうかがえます。元通りの生活にすぐに戻るのは難しいですが、感染防止策を講じながら、子どもたちの学校生活をより豊かにできるよう、徐々に教育活動の幅を広げていくことも考えていきます。中学部の部活動では、夏休み期間中、例年の大会とは内容を変えながらでしたが緑区内での交流試合を行うことができ、9年生にとって最後の試合に臨むことができました。10月7日(水)には「霧リンピック2020」(中学部)、11月2日(月)には「きりっこ体育参観(仮称)」(小学部)も計画しています。地域に出での学習やバスを使った日帰りの校外学習など、できるところから計画していきます。

コロナ禍での活動になりますので、直前での計画変更や中止ということも想定されます。しかし、先日の臨時休業明けには「一緒に学校に行けてうれしいな。」「元気だった?」「会いたかったよ。」などの優しく思いやりのある声が多く聞こえてきました。何があっても学校は安全・安心で楽しいところ、その雰囲気子どもたち自身がつくっているのが霧が丘学園です。コロナ禍における急な状況にあっても、子どもたちの「やさしさ」「思いやり」で乗り越えていけることを確信しました。

### 新型コロナウイルス感染症対応に関する報告・登校等について

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が日々報じられ、学校関係者の中にも感染者の確認がされるようになってきました。学校への報告や登校、休業中の行動制限についてご確認ください。引き続き、感染拡大防止へのご理解ご協力をお願いします。

#### 1 学校への報告

お子さんまたは同居のご家族が①「濃厚接触者」となった場合、もしくは②「PCR検査を受ける」ことになった場合は学校に速やかに連絡をしてください。(小学部:921-8002 中学部:921-8004)

#### 2 登校について

○お子さんが上記①②となった場合は、出席停止となります。登校はできません。

○同居のご家族が上記①②となった場合は、出席停止とはなりません。ただし、感染症拡大防止等の理由でお休みしても、欠席扱いにはなりません。

#### 3 学級(学年)閉鎖・臨時休業時の行動について

感染症拡大防止のため、横浜市教育委員会の指示により学級(学年)閉鎖や臨時休業となる場合があります。その期間における行動については次の通りです。

○上記①②のお子さんについては、自宅療養等、緑福祉保健センターの指示に従ってください。

○上記①②以外のお子さんについては、感染症拡大防止のための特段の行動制限はありません。